

令和7年度 学校評価実施報告書

幼稚園名（西院 幼稚園）

教育目標

その子らしさを大切に たくましく生きる力の基礎を培う

年度末の最終評価

自己評価	教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価	令和7年11月7日	学校運営協議会
最終評価		

（1）幼稚園教育（保育の改善・充実）について

具体的な取組

- ・子どもや保護者との信頼関係をしっかりと築き、親子共に安心安全に楽しく過ごせる幼稚園を目指し取り組んでいく。
- ・友達、先生、地域の方々、小学生中学生など様々な人とつながる喜びを味わえる環境を用意する。
- ・子どもの行動や姿のみに捉われず、子どもの思いを丁寧に見取り、内面を理解してかかわり、一人一人の思いに沿ったかかわりを大切にして保育を進める。
- ・多方面から子どもの姿を捉え、記録したり、日々子どもの姿を教職員間で話し合ったり、保育を振り返ったりして保育の充実を図る。また、教育委員会や専門機関の先生から学んだことを活かし保育の質を高める。
- ・教師も一緒に遊び、自ら遊びたくなったり表現したくなったりする環境や自然に触れたりいろいろな体験を通して学べる内容を考える。
- ・子どもが安心して自分の素直な思いが出せたり、居心地が良いと感じられたりするクラスづくりを目指す。
- ・ICTを保育に取り入れ、子どもが経験や学びを深めていく。

(取組結果を検証する) 各種指標

- ・日々の保育や園内研究保育、記録やエピソードなどを通しての研究協議
- ・週案の反省、評価、改善 保育環境の構成及び検証
- ・アンケート項目「幼稚園に楽しんで通っている」「自分から遊びを見つけ、楽しんで遊んでいる」「友達と遊ぶことが好きである」「自分の思いや考えを言葉で伝えている」「体を動かして遊ぶことが好きである」「絵本やお話が好きである」「動植物を大切にしている」

中間評価

各種指標結果

- ・子どもや保護者の言動や表情などから、思いを受け止め、教員で子どもの良さや可能性、課題等話し合い教師の援助や保育内容を考えた。また、担任だけでなくチーム保育を心掛け、教員全員で環境構成を行い実践してきた。
- ・アンケート項目より 回答者 (保護者 35名 教職員 14名 計 49名)
A よくあてはまる B あてはまる AB 両方の%
「幼稚園に楽しんで通っている」 (A34/49 B13/49 96%)
「自分から遊びを見つけ、楽しんで遊んでいる」 (A30/49 B16/49 94%)
「友達と遊ぶことが好きである」 (A31/49 B13/49 90%)
「自分の思いや考えを言葉で伝えている」 (A16/49 B22/49 78%)
「体を動かして遊ぶことが好きである」 (A34/49 B11/49 92%)
「絵本やお話が好きである」 (A27/49 B16/49 88%)
「動植物を大切にしている」 (A21/49 B20/49 84%)

自己評価

分析 (成果と課題)

「毎日楽しく通っています」「子どもにとって環境がよく、家でも幼稚園の様子をよく話します」「先生のことも友達のことも大好きで楽しんで通っています」「子どもを愛して、必要な時に抱きしめてくださる先生たちの下で喜んで通っています」等の保護者の方からたくさんご意見をいただいている。また、日々の登降園においても、保護者の方から子どもたちの様子を聞かせていただき、園内で共有して子どもたちへのかかわりについて考えている。温かいお言葉をいただいている反面、まだまだ不満足に感じられている方もおられるので、しっかりと保護者の方の思いも受け止め、保護者の方に安心して子どもを預けていただけるよう取り組んでいきたい。また、週案及び日々の記録やエピソードから保育を振り返ったり、教育委員会の先生に来ていただき研究保育をして、教師のかかわりや環境構成について学んだりしてきた。これからも、一人一人の子どもの姿を丁寧に読み取り、日々、子どもの内面理解に努め、子どもの発達や育ちを考え、子どもが楽しめる環境を整えていきたい。

分析を踏まえた取組の改善

「子どもが安心して通える幼稚園である」「幼稚園に楽しんで通っている」「自分から遊びを見つけ、楽しんで遊んでいる」など、昨年度評価がよかつた項目も低くなっている。子どもが安心して遊べたり、もっと遊びを楽しんだりできるように、保育内容を見直し子どもが興味や関心をもって遊べるように改善していきたい。

(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標

前期に準する。

学校 関 係 者 評 価	学校関係者による意見・支援策
	自由記述はみなさん、幼稚園に対して好意的でよくしてくれていると感謝をされているアンケート結果を見る限り、良いご意見もあれば、評価の低い項目「あてはまらない」という保護者の方の素直な声が聞けたのではないか。保護者の方は我が子を見てアンケートに答えるので、その出た意見を受け止め、保護者に寄り添い、今後かかわりを深めてほしいと思う。

最終評価

自己 評 価	(中間評価時に設定した) 各種指標結果
	分析 (成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題 分析を踏まえた取組の改善
学校 関 係 者 評 価	学校関係者による意見・支援策

(2) 幼保小の架け橋プログラムの推進に関して

具体的な取組	(取組結果を検証する) 各種指標
	<ul style="list-style-type: none"> ・保幼小互いの授業や保育を参観し研究協議をしたり、教員同士の研修を行ったりして、幼小接続に向けて保育の充実を図る。 ・保幼小の交流や教員同士の研修の内容を保護者や地域の方に伝え、安心して小学校へ就学できるようにする。

中間評価

各種指標結果	分析 (成果と課題)
	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めから西院地域の小学校保育所幼稚園と年間計画について話し合い、小学校全幼稚園保育園の教員の参観を行ったことは、昨年度より進んだ取り組みになった。 ・アンケート項目「幼稚園・小学校・保育園との連携ができている」 (A28/49 B13/49 84%)
自己 評 価	幼保小架け橋プログラムとして、年度当初に年間計画を立て、フェーズについても話し合い、今の現状を考え、見直しをした。今年度、初めて全幼稚園と全保育園の保育参観を実施し、他園を知ることができた。 今後、生活科の授業等に参加させていただき、園児と児童の交流を行い、全保育参観を行った後幼児教育について研究協議を行っていきたい。

学校 関 係 者 評 価	分析を踏まえた取組の改善
	架け橋プログラムの取り組みは、なかなか保護者の方には伝わっていない。今後、取り組みをしつかり発信し、架け橋プログラムでの成果を保育に活かしていく。
	(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標

前期に準ずる

最終評価

自己 評 価	(中間評価時に設定した) 各種指標結果
	分析 (成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題
学校 関 係 者 評 価	分析を踏まえた取組の改善
学校 関 係 者 評 価	学校関係者による意見・支援策

(3) 預かり保育に関して

具体的な取組	・担任、預かり保育担当者、保健職員の連携を密にして、子どもの心身の負担に配慮しながら保育を考え、共通理解し、同じ方針で取り組む。
	・家庭との緊密な連携を図り、情報交換しながら、家庭の負担も少なくし、子どもを共に育てるという思いで取り組む。
(取組結果を検証する) 各種指標	・地域の方などの外部講師を招き、いろいろな催しを行い、子どもの経験が豊かになるようにする。
	・早朝預かり保育や18時まで預かり保育を行い、働く保護者支援を十分に行う。
・預かり保育の記録内容 参加人数	
・アンケート項目「子どもは預かり保育に喜んで参加している」「預かり保育の様子がよくわかり安心できる」	

中間評価

各種指標結果	・預かりを参加している子どもの様子や言動から、子どもの姿を探る。
	・預かり保育参加者の参加数
・アンケート項目	・アンケート項目

自己評価	「子どもは預かり保育に喜んで参加している」(A29/49 B11/49 82%) 「預かり保育の様子がよくわかり安心できる」(A25/49 B21/49 94%)
	分析 (成果と課題) 早朝預かりや18時まで預かり保育を利用する家庭が増えている。また、未就園児3歳児の預かり保育利用者も固定している。 一人一人が安心して参加できるように担任と預かり保育担当者が連携を取りながら、子どもの心や体調を考え参加できるように努めている。預かり保育を楽しみにしている子どもも多く、異年齢の関わりも十分にできている。 いろいろな経験を大切にしたいと思い外部講師の方に園に来ていただきサッカー教室や絵本の読み聞かせ、英語で遊ぼう、つくって遊ぼうなどイベントを行っている。イベントのある時は参加者も増え楽しんでいる。
	分析を踏まえた取組の改善 預かり保育に楽しんで参加する子どもが多く、教育時間内の子ども同士のかかわりにも変化があり、友達関係が広がっている。早朝や16時以降預り保育を利用する子どももかなり増え、安定し、落ち着いて過ごしている。
学校関係者評価	(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標 前期に準する。 学校関係者による意見・支援策 今回、預かり保育についての取組を子どもの姿により、よくかわった。保護者の方が、安心して預けられるのではないかと思う。 これからも、引き続き、働いている人が安心して預けられる幼稚園になるようにしてほしい。

最終評価

自己評価	(中間評価時に設定した) 各種指標結果
	分析 (成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

(4) 子育ての支援について

具体的な取組

- ・子どもの安全な遊びの場を提供し、保護者が相談しやすい雰囲気つくりに努め、子育てを楽しみ、子どもの成長を喜び合える保護者同士の場となるようにする。(教職員からの挨拶や声かけ)
- ・保護者や子育て支援教育相談に来られる保護者から相談しやすい雰囲気をづくり、話をしっかりと聞き、相談には丁寧に答えていく。

- ・幼稚園の内容を知っていただくために、ホームページや手紙などで発信する。
- ・子育て学級「ぼちぼちいこか」を開催し、保護者の方同士が気軽に話せたり、時には専門の先生の話を聞いたりする場を設ける。
- ・マイ幼稚園として登録していただき、一緒に子育てを楽しめるようにする。

(取組結果を検証する) 各種指標

- ・子育て支援教育相談の参加人数、相談件数
- ・園児の増加人数
- ・教職員の意識調査アンケート「未就園児の親子の顔と名前が一致している」「未就園児の親子に必ず挨拶をしている」

中間評価

各種指標結果

- ・未就園児クラスの毎週の参加数
- ・継続した参加者の増加
- ・未就園児保護者との日々の会話

自己評価

分析 (成果と課題)

3歳児いちご組の子どもについても一人一人の姿等について話し合い、共通理解をし保育を行っている。ぶちいちご組とひよこ組については、毎週参加してくださる方についてはだいたい把握している。
9月から南園舎の1階をひよこ組ぶちいちご組の保育室にしたことで、乳児さんについて落ち着いて過ごしてもらうことができた。保育室も落ち着いて過ごせる環境になったので、今後、未就園児の参加が増えるように取り組んでいきたい。

分析を踏まえた取組の改善

未就園児クラスの保育の充実を図り、安心して親子共に参加できるようにしていく。西院幼稚園の未就園児クラスを多くの方に知っていただき利用者の増加につなげていきたい。

(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標

前期に準する。

学校関係者評価

保育室が新しくなったことは、とてもいい。子どもも保護者も落ち着く場所ができた。利用する保護者が増えるといい。

子どもは少なくなってきたが、まだ、どこにも通っていない子どももいる。その子どもたちやいろいろな事情をかかえている子どももいるので、サポートができるといい。

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果

自己評価

分析 (成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題

分析を踏まえた取組の改善

学校関係者による意見・支援策

(5) 地域とのかかわり（社会に開かれた教育課程）に関して

具体的な取組

- ・月一回の公園清掃を通し、公共の施設を大切に使う意識をもつ。
- ・地域の方とのつながりを大切にし、地域で大切にされているという思いが感じられるようする。
- ・学校運営協議会の方による幼稚園教育の参画の充実を図る。
- ・企画委員会による絵本室の壁面づくりや絵本の修理、その他行事を共に行い一緒に活動していくだく。

(取組結果を検証する) 各種指標

- ・園の行事にできる範囲で地域の方に参加してもらい、ご意見をいただく。
- ・学校運営協議会企画推進委員会による園行事の参画結果
- ・参加された方の意識調査等

中間評価

各種指標結果

- ・月1回の地域の方との合同の公園清掃
- ・地域の方の園行事への参加率

分析（成果と課題）

地域の方とのかかわりがかなり増えた。公園清掃を共に行ったり、交通教室を手伝ってくださつたりしている。

学校運営協議会の方や企画推進委員、ボランティアの方にお世話になり、月に一度、絵本室の掲示物を季節ごとに変えていただいたり、絵本の修理をしていただいたりしている。

分析を踏まえた取組の改善

これからも、地域の方に園に来ていただく機会を増やし、地域の中にある西院幼稚園を目指していきたい。清掃や絵本整理はかなり定着してきた。また回数を重ねる度に、親しみを感じ仲よくなれた。

(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標

前期に準する。

学校関係者による意見・支援策

幼稚園のことやちょっとしたわからないこと、子ども同士のことなど、今まででは、上の兄姉がおられる先輩の保護者に聞く雰囲気があつたが、最近はなかなかそのような場がない。絵本ボランティアの活動で、いろいろな保護者が集まって活動をしながら仲よくなることは嬉しい。

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析 (成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

(6) 教職員の働き方改革について

重点目標
働きがいのある職場づくりを目指す。
具体的な取組
<ul style="list-style-type: none"> 教職員が進んで積極的に働き、自分の業務をきちんと行ったりする。 仕事の効率化を図り、勤務時間内で仕事を終えるようにする。 校務支援員の任用や、仕事を分担したり、声を掛け合い協力して仕事をする。
(取組結果を検証する) 各種指標
<ul style="list-style-type: none"> 教職員の勤務状況や時間、年休取得。ストレスチェックの結果。 職場の支援等

中間評価

各種指標結果	
<ul style="list-style-type: none"> 年次休暇の取得の増加、仕事内容の見直しを図り、時間外勤務を少なくしてきた。 教職員全員が子どもを大切に考え、自分から声をかけ、親身になって相談にのっている。 	
自己評価	<p>分析 (成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度多数の非常勤講師や校務支援員や育成支援員の配属により、一人当たりの業務の軽減につながっている。 保護者の方に協力いただき、年休取得促進日を設けることができ、年次休暇の取得につながっている。
	分析を踏まえた取組の改善
	保護者の方や地域の方のご理解をいただきながら、教職員みんなで協力し、助け合いながら業務を進めていく。勤務時間内に業務終了できるように、時間配分を考えて業務に取り組む。
(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標	前期に準する。

学校 関 係 者 評 価	学校関係者による意見・支援策 いろいろなことを、先生達だけで行うのは大変だと思う。信頼できる人間関係を築き、みんなで育てる雰囲気をつくれるといい。
-----------------------------	--

最終評価

	(中間評価時に設定した) 各種指標結果
自己評価	分析 (成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題 分析を踏まえた取組の改善
学校 関 係 者 評 価	学校関係者による意見・支援策